

2024年2月9日

記者會、記者クラブ 各位

地域創生プロジェクト
遠隔・仮想技術の現在と未来シンポジウムを開催します

岐阜大学航空宇宙生産技術開発センターは下記のとおり地域創生プロジェクト「遠隔・仮想技術の現在と未来シンポジウム」を開催します。

本学では、2020年に「地域展開ビジョン 2030」を策定し、SDGs 達成や地域課題解決に向けた研究開発を推進するための地域創生プロジェクトを立ち上げました。そのプロジェクトの一つである「遠隔・仮想化技術による新しいコミュニケーション社会の実現」では、ヒト、モノ、コト(経験・体験)に関する情報を多対多で相互通信し、物理的／心理的距離を感じずに様々なサービス、体験・経験が享受できる新しいコミュニケーション社会の実現を目指しています。

この取り組みにおいて、教育分野での遠隔・仮想化技術の展開を目指し、航空宇宙生産技術開発センター内に「サイバーフィジカルものづくり教育基盤室」を設置し、世界初の「五感を感じとれる遠隔実習」＝「サイバーフィジカルものづくり遠隔実習」の教育基盤の構築を目指しています。

本シンポジウムでは、遠隔技術および仮想技術の社会実装に関して先駆的な取り組みを進められている方(天文仮想研究所 天野ステラ 氏及び VR 宇宙博物館コスモリア えんではー 氏(仮想技術)／モーションリブ株式会社 溝口孝弘 氏(遠隔技術))をお呼びし、それぞれの技術の最新動向についてご講演いただきます。その後、今後の遠隔・仮想技術についてのパネルディスカッションを行います。休憩時間を活用した VR 体験会も行います。

つきましては、ぜひ取材いただきますようお願い致します。

記

日 時： 令和6年2月27日(火)14:00-17:00

場 所： 長良川国際会議場 5F 国際会議室(岐阜市長良福光 2695-2)

Cyber Space VRChat/IPTeCA Appearance(メタバース空間)

プログラム： 14:10～15:10 講演「仮想空間に「本物」はあるのか？ VR 宇宙博物館
コスモリアの開発と挑戦」

天文仮想研究所 代表 天野ステラ 氏

VR 宇宙博物館コスモリア 館長 えんではー 氏

15:25～16:05 講演「世界にやさしいチカラを リアルハプティクスを
用いた遠隔操作と応用事例」

モーションリブ株式会社 CEO 溝口貴弘 氏

16:05～16:25 パネルディスカッション

備 考： VR 体験会あり

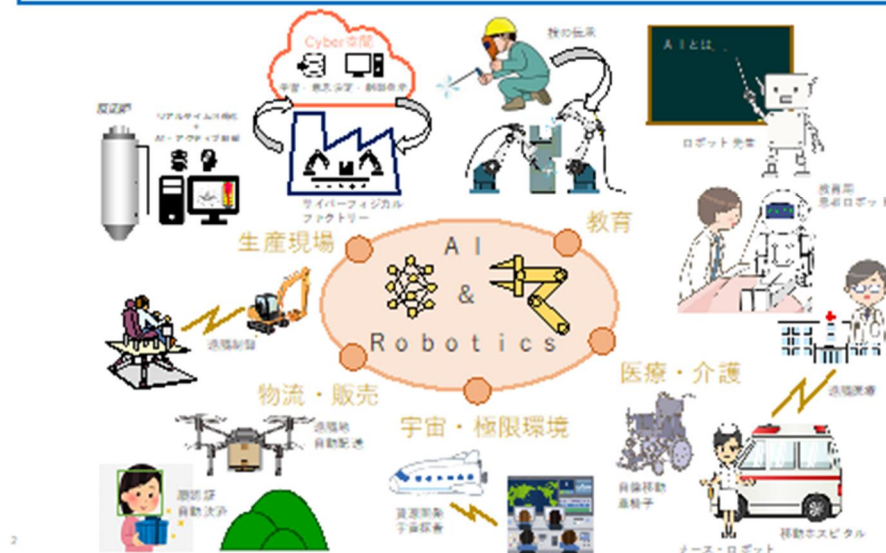
Press Release

地域創生プロジェクト

「遠隔・仮想化技術による新しいコミュニケーション社会の実現」

東海国立大学機構 岐阜大学 地域国際ビジョン2030

ヒト、モノ、コト（経験・体験）に関する情報を多対多で相互通信し、物理的／心理的距離を感じずに様々なサービス、体験・経験が享受できる新しいコミュニケーション社会



航空宇宙生産技術開発センター「サイバーフィジカルものづくり教育基盤室」

サイバー空間に五感をリアルに感じとれるキャンパス/実習室を建設し、ものづくり教育が抱える課題を解決する



メタバースの集合知にアクセス可能な蓄積型空間の構築



遠隔参加・遠隔操作（※VR/MR）

今回のリリースはミライエ構想のうち、右記を推進するものです。

「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu_miraie.html



岐阜大学は、国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

東海国立大学機構 HP <https://www.thers.ac.jp/>



問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
工学部 兼務 航空宇宙生産技術開発センター
伊藤 和晃
TEL:058-293-2404
E-mail:ito.kazuaki.x5@f.gifu-u.ac.jp